

平成 30 度三重大学国際交流事業実施報告書 (学内版)

1. 申請部局

学部・研究科名等：工学研究科

事業担当者の職・氏名：研究科長・畑中 重光

内線電話番号：9361

電子メール：hatanaka@arch.mie-u.ac.jp

2. 事業の名称 (20 字以内, 別に副題を付けても良い)

ツィニング・プログラムの実施 - ベトナム・ハノイ工科大学と三重大学工学研究科 (継続)

3. 事業内容の別 (該当するところにチェックを入れてください。)

教職員, 学生の海外派遣 (学会やシンポジウム等の出席は除く)

海外交流機関等からの教職員, 学生の受け入れ

国際教育プログラムの開発や推進

その他

#### 4. 事業の取組結果

##### (1) 事業概要

加盟しているハノイ工科大学とのツイニング・プログラム日本コンソーシアムに則り、ハノイ工科大学とのダブルデグリー・プログラムを実施した。具体的には、11月に本学から日本人教員を派遣して機械工学に関する集中講義を日本語で行った。また同時に本学に派遣されているツイニング・プログラムの学生による三重大大学の紹介を実施した。1月には本学において、書類選考を主とした3年次編入試験を実施した。

##### (2) 事業の背景・これまでの実績

長岡技科大、豊橋技科大、名工大、群馬大、岐阜大、三重大、和歌山大、北見工大が参加するハノイ工科大学とのツイニング・プログラム日本コンソーシアムは、今年度もハノイ工科大学との間でツイニング・プログラムを実施した。参加校はハノイ工科大学で基礎教育と約860時間にわたる日本語教育を2年半(5セメスター)受けた学生に対して、私費留学生として3年次編入試験を実施し、ハノイ工科大学の学生を3年次編入生として受け入れてきた。受入れ大学で学部を卒業したものは日本の大学の学位を取得するとともに、卒業後にハノイ工科大学で必要な講義を受講することで同大学でも学位を取得することが可能となることから、本ツイニング・プログラムはダブルデグリー・プログラムである。卒業後は大学院に進学したり、日本企業に就職するケースも多く、「日本語ができる指導的技術者の育成」の目的が達成されてきた。

三重大学は、2年前に工学研究科がこのコンソーシアムへ加盟し、機械工学科を中心としてこのプログラムに参加している。一昨年からの2年間と同様に、機械工学科の教員が、現地のハノイ工科大学において日本語による集中講義を行った。また国内にて、書類選考による編入試験を行った。現在、4年生に2人、3年生に2人の計4人が在籍しているが、来年度も3人の受け入れを予定している。

##### (3) 事業実施結果

- 3月 コンソーシアム会議に参加
- 9月 コンソーシアム会議に参加
- 11月 本学からの派遣教員による専門科目の集中講義を実施
- 11月 本学に派遣されているツイニング・プログラムの学生による三重大大学の紹介を実施
- 1月 ツイニング・プログラムに対する3年次編入試験を実施
- 3月 コンソーシアム会議に参加
- 4月 3人の合格者の入学(予定)

##### (4) 事業の意義

ハノイ工科大学はベトナム国内でトップクラスの工業大学であり、ドイツやフランスも同様のプログラムを実施している。本ツイニング・プログラムの人気は非常に高く、毎年80名程度の学生が参加するが、選抜の過程は厳しく、編入試の受験に至る学生は20名程度にまで絞られる。そのため、各大学に編入する学生は優秀であり、本来の目

的である「日本語ができる指導的技術者の育成」が達成されているプロジェクトである。

なお、本プログラムに参加する学生は、ハノイ工科大学で基礎教育と約 860 時間にわたる日本語教育を 2 年半（5 セメスター）受けるとともに、コンソーシアム参加大学からの派遣教員による専門科目の集中講義を受講する。その後、編入試験を受け、合格した場合には 3 年次編入の私費留学生として参加校で受け入れる。受入れ大学で学部を卒業したものは日本の大学の学位を取得する。卒業後にハノイ工科大学で必要な講義を受講することにより、同大学でも学位を取得することが可能となるダブルデグリー・プログラムである。

昨年度は 2 人の留学生を 3 年時編入学生として受け入れ、本年度は 2 人の留学生を 3 年時編入学生として受け入れている。また来年度も 3 人の受け入れを予定している。このため、本プログラムは継続的に進捗している。

#### （５）事業の発展性

本年度よりまずは機械工学科が受け入れを開始したが、卒業生が出るまではしばらくは様子を見て、その後に他の学科にもこのプログラムを拡張していく予定である。また、交流を教職員レベルにまで発展させることにより学部間協定の締結なども視野に入れている。

#### （６）中期目標・中期計画における位置づけ

##### ４ その他の目標

##### （１）グローバル化に関する目標

- １（大学と地域のグローバル化推進）
- ２（海外大学との交流の実質化）

#### （７）その他

特になし。

## 平成 30 年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：日本語版）

## ハノイ工科大学とのツイニング・プログラムの実施および継続

本年度も、ハノイ工科大学とのツイニング・プログラムを実施し、2名の学生の3年次編入を行なった。昨年も2名の学生の3年次編入を行っており、現在4名の学生が、3学年と4学年で勉学に励んでいる。

3年前より、工学部はハノイ工科大学とのツイニング・プログラム日本コンソーシアム会議に加盟し、留学生の受け入れを開始した。このプログラムは日本語のできる指導的技術者の育成を目標として、長岡技術科学大学が2003年に立ち上げた。応募学生は2.5年間現地の大学で機械工学の専門の基礎知識を学習し、日本においてその後の2年間で応用知識を学習する。すべてを修了した学生に両大学の学位が授与される点に大きな特徴がある。

編入学試験を受験する前に、留学生は日本語を学習する。それを助ける目的で、7大学の教員が短期の集中講義を行っている。三重大学からは、中西栄徳准教授が11月5日から11月8日の4日間、ハノイ工科大学で工業力学を教授した。その後、大学説明会に参加し、三重大学を紹介した。その際、本学に3年次編入し4学年に在籍するグエン君が同席し、三重大学を紹介を手伝った。

またハノイ工科大学ツイニング・プログラム・コンソーシアム会議にも定期的に参加し、同じプログラムを行う大学との連携を密に行なっている。今年度も3月と9月にコンソーシアム会議に参加した。

入学試験は1月7日に実施され、3人の受験者が合格した。今春より3年生として在籍する予定である。本年度以降も、継続的に集中講義と入学試験を実施する計画であり、来日した留学生の支援にも力をいれたい。

## 平成 30 年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：英語版）

### Twining program with Hanoi University of Technology

In this year, we continued a twining program with Hanoi University of Science and Technology, and we accepted two students for the third year as transfer students. Last year we also have 2 students transferring to the 3rd year. Currently 4 students are studying in 3rd and 4th grades in Mie University.

Three years ago, the Faculty of Engineering joined the Japan Consortium Conference of Twining Program with Hanoi University of Science and Technology and started accepting international students. This program was launched by Nagaoka University of Technology in 2003, in order to nurture leading engineers who can speak Japanese. Applicants have studied the basic knowledge of mechanical engineering at a local university for 2.5 years and learn applied knowledge in the next two years in Japan. As a big feature of the program, transferred students, who completed all, can get double degrees of the both university.

Foreign students will learn Japanese in Vietnam before taking the transfer study in Japan. For the purpose of helping it, teachers from 7 universities are conducting intensive short-term lectures. From Mie University, associate professor Eisaku Nakanishi instructed industrial mechanics at Hanoi University of Science and Technology for four days from November 5 to November 8. After that, he participated briefing session to introduce Mie University to the applicants in Hanoi University of Science and Technology. At that time, Mr. Nguyen, who transferred to our university for 3rd year and enrolled in 4th grade, also visited Hanoi University of Science and Technology and helped introduce Mie University.

Faculties in Mie University also regularly participate in the Hanoi Institute of Technology Twining Program Consortium Conference and closely cooperate with universities in the same program. This fiscal year two faculties also participated in the Consortium Conference in March and September.

The entrance exam was carried out on January 7 and three candidates passed. They plan to be enrolled as a third grader from this spring. From this fiscal year onwards, we plan to continue intensive lectures and entrance examinations on an ongoing basis and also want to empower international students who came to Japan.